

議決権行使レポート

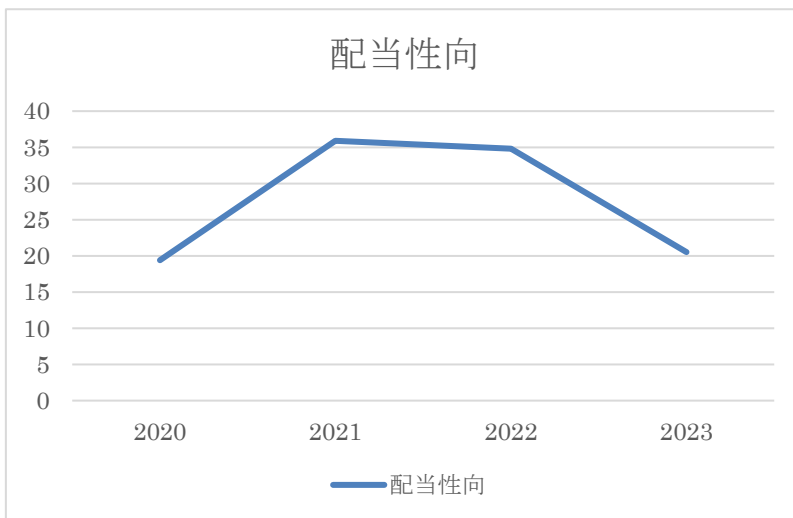
証券コード 4611

会社名 大日本塗料株式会社

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 監査役選任			
里 隆幸 氏	○		
永野 達彦 氏	○		
野田 秀吉 氏	○		
山本 基弘 氏	○		
中谷 昌幸 氏	○		
三宅 章弘 氏	○		
林 紀美代 氏			○
佐藤 弘志 氏	○		
馬場 浩司 氏	○		
第3号議案 補欠監査役1名選任の件	○		
第4号議案 当社株式等の大規模買付行為に関する対応策（買収防衛策）継続の件	○		

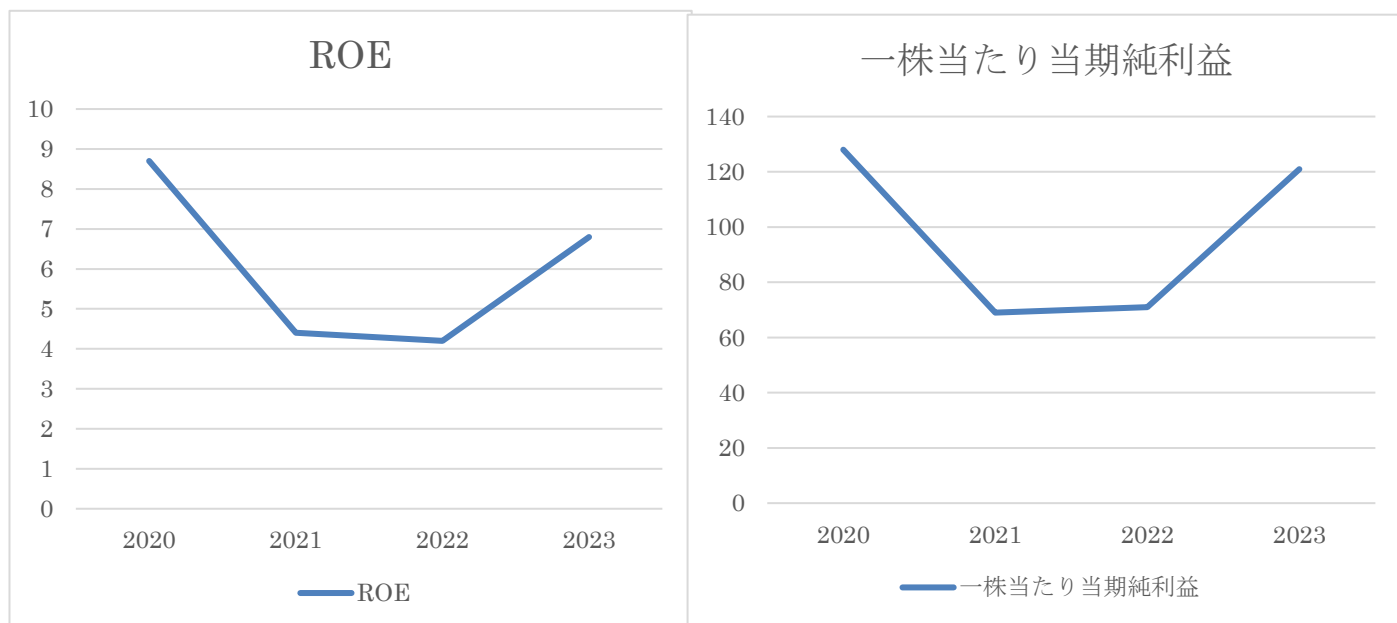
上記の推奨をした理由

- ・第1号議案 剰余金の処分の件



大日本塗料株式会社（以下 DNT）は、株主に対し安定的な配当を行うことを経営上の重

大課題かつ基本方針としている。2022年度の期末配当は過去四年と同額の25円であり、配当性向は20.5%である。配当性向はISSが基準とする15%から100%の範囲にある。また、ROEと一株当たり当期純利益は新型コロナウイルスにより、一時低迷したが、2022年度は上昇した。したがって、今後の業績の向上と安定な配当が見込まれる。よって、賛成とする。



・第2号議案 監査役選任

独立性の社外取締役は3分の1以上かつ2人以上存在している。また、社外役員である3人とも、在任期間が12年未満である。ここでは取締役の構成自体に問題はないと判断する。ROEにおいても、2020年度と2021年度は5%を切ったものの、2022年度に回復した。新任である三宅章弘氏を除き、残りの8人の取締役会の出席率はすべて100%である。独立性においても、佐藤弘志氏や馬場浩司氏は過去にDNTの取引先での勤務歴があるものの、長年経てることから、独立性があると判断する。林紀美代氏はISSの独立性基準にある「会社の監査法人において、勤務経験がある」に当てはまることから、独立性に欠けている可能性がある。しかし、女性である点と、過去の取締役会の出席率を考慮し、ここでは棄権とする。新任の三宅章弘氏は他社に勤めたことはなく、独立性があると判断する。

・第3号議案 補欠監査役1名選任の件

社外監査役補欠者である西田啓氏はISSの独立性基準に引っかかっておらず、ここでは賛成とする。

・第4号議案 当社株式等の大規模買付行為に関する対応策（買収防衛策）継続の件

独立性のある社外取締役が2名以上かつ、全体の3分の1を占めている。取締役の任期は1年である。有効期限が3年である。総継続期間は3年を過ぎており、ISSの買収防衛策の反対基準を満たしている。しかし、このプランが経済産業省および法務省が発表している買収防衛策に関する指針の要件をすべて充足していることや、株主意思を重視するものであることや、合理的な客観的発動要件を設定していることから、ここでは賛成とする。

参考文献

大日本塗料株式会社「第140期 定時株主総会 招集ご通知」最終アクセス日 2023年6月27日

<https://www.dnt.co.jp/ir/stock/meeting/pdf/syousyu-140.pdf>

ISS「2023年版 日本向け議決権行使助言基準」最終アクセス日 2023年6月27日

<https://www.issgovernance.com/file/policy/active/asiapacific/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf>

大日本塗料株式会社「2023年3月期 決算短信」最終アクセス日 2023年6月27日

<https://www.dnt.co.jp/ir/library/earning/pdf/tan20230511.pdf>